第9回 日本・フィンランド新音楽協会 講演会・演奏会

講演会 第一部

「フィンランドにおける 第二次世界大戦の記憶と表象



講演者 石野 裕子 国士舘大学准教授

第二部 演奏会

第二次世界大戦期に生まれた フィンランド音楽とその影響。

2022年11月28日(月)

東京ウィメンズプラザ・ホール 東京都渋谷区神宮前5-53-67

17:30 開場 / 18:00 開演

入場料: 一般: 2,000円

協会員:1.000円(全席自由)

チケットお申込み

teket (https://teket.jp/4349/14970)



お問い合わせ

- ♥ 050-5534-7254 (アート&プリマ)
- 🔀 jfcmsociety@gmail.com

※メールによるお問い合わせは11月26日までとさせていただきます。

主催:日本・フィンランド新音楽協会 後援:フィンランド大使館、日本シベリウス協会、北欧文化協会 一般社団法人日本フィンランド文化友好協会

PROGRAM

タネリ・クーシスト:フィンランドの祈り(1939)

Taneli Kuusisto: "Suomalainen rukous" (for soprano and piano)

前川 朋子(ソプラノ)福士 恭子(ピアノ)

タウノ・ピュルッカネン:死の白鳥 から (1943)

Tauno Pylkkänen: from "Kuoleman joutsen" (for bariton and piano

鈴木 啓之(バリトン)玉田 裕人(ピアノ)

エイナル・エングルンド:前奏曲第1番「夜想曲」(1967)

Einar Englund: Prelude No. 1 "Notturno" (for piano)

小川至(ピアノ)

アーレ・メリカント:前奏曲 (1943)

Aarre Merikanto: Prelude (for violin and piano)

片見 悠(ヴァイオリン)高橋 絵里子(ピアノ)

ジャン・シベリウス:フィンランディア (1899/41)

前川 朋子(ソプラノ)福士 恭子(ピアノ)

曲目は予告なく変更となる場合がございます



「冬戦争」と「継続戦争」。

フィンランドを揺るがした2つの大戦と、その影響を辿る。

第一部 講演会

「フィンランドにおける 第二次世界大戦の記憶と表象」

第二次世界大戦中に勃発したフィンランドとソ連の2度に渡る戦争 (冬戦争:1939年11月~1940年3月、継続戦争:1941年6月~1944 年9月)が、戦後フィンランドにおいてどのように国民に「記憶」 され、また表象されていったのかを歴史教科書、映画、小説などを 題材に見ていく。現在のロシアのウクライナ侵攻と冬戦争の「記 憶|との関連についても触れる。

第二部 演奏会

「第二次世界大戦期に生まれた フィンランド音楽とその影響」

苛烈を極めた2つの戦争は、フィンランド国民の感覚にどのよ うな影を落としたのか。両戦争のさなか(1939年~1944年)に 書かれたフィンランド人作曲家による作品を通して、彼らが受 けた音楽的影響がどのようなものだったのかを演奏を通して浮 き彫りにする。

- PROFILE -

講演者:石野 裕子

2005年津田塾大学大学院後期博士課程単位取得退学。2011年博士 号(国際関係学)取得。津田塾大学助教、常磐短期大学准教授など を経て2018年より国士舘大学文学部准教授。専門はフィンランド 近現代史。主な業績に「『「大フィンランド」思想の誕生と変遷: 叙事詩カレワラと知識人』(岩波書店、2012年)、『物語 フィン ランドの歴史―北欧先進国「バルト海の乙女」の800年―』(中公 新書、2017年)。

前川 朋子 (ソプラノ)

国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業。東京二期会、日本シベリウス 協会、日本・フィンランド新音楽協会会員。二期会WEEK「白夜の 国の歌曲たち 森の精霊とともに」(企画・出演)、「北欧フィン ランドの調べvol.1-3」の主催、日本フィンランド文化友好協会ガラ コンサート「フィンランドのタベ」出演など。

福士 恭子 (ピアノ)

ハンガリー国立リスト音楽院留学、スイスバーゼル音楽院ソリスト ディプロマ取得。2003-2010年、Lahti University of Applied Sciences音楽学部ピアノ科、Lahti Conservatoryにて非常勤講師。 日本・フィンランド新音楽協会事務局長、日本シベリウス協会会員。

鈴木 啓之 (バリトン)

名古屋音楽大学大学院音楽研究科修了。フィンランドにてJorma Hynninen氏に師事。大阪国際音楽コンクール入賞。フィンランド 歌曲を中心とした音楽活動をライフワークとしており、高評を得 ている。現在、日本シベリウス協会運営委員、名古屋二期会理事、 日本・フィンランド新音楽協会会員。

玉田 裕人 (ピアノ)

名古屋音楽大学大学院音楽研究科修了。国内外の演奏会、コンクー ルに出演し、数々の受賞を重ねる。2013年2月のソロデビューリサ イタルを皮切りに演奏活動を本格化。現在、愛知文教女子短期大学 専任講師・名古屋音楽大学附属音楽アカデミー講師。

片見悠(ヴァイオリン)

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学卒業。アウクスブルク大 学院修士課程修了。これまでに水野佐知香、辰巳明子、Bernhard Tluck、Linus Rothの各氏に支持。Thomas Brandis、Daniel Gaede氏らのマスタークラス受講。

高橋 絵里子 (ピアノ)

桐朋学園大学音楽学部、オーストリアのアントン・ブルックナー 音楽大学及びグラーツ国立音楽大学にてピアノ、室内楽、現代音 楽を学ぶ。留学中にフィンランド音楽と出会う。近現代曲の演奏、 献呈作品や新曲の初演も手掛ける。日本・フィンランド新音楽協 会会員。

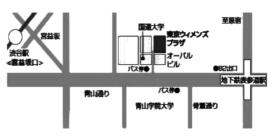
小川 至 (ピアノ)

武蔵野音楽大学卒業後、チャイコフスキー記念モスクワ音楽院に 留学。フィンランドの音楽に焦点を当てた演奏会シリーズ「森の 響き、湖の歌」を長野・東京の二ヵ所にて主催。日本・フィンラ ンド新音楽協会、日本シベリウス協会会員。

🖭 会場アクセス

東京ウィメンズプラザ・ホール

- ・渋谷駅 宮益坂口から徒歩12分
- ・東京メトロ銀座線、半蔵門線、千代田線表参道駅 B2出口から徒歩7分・都バス (渋88系統) 渋谷駅から2つ目 (4分) 、青山学院前バス停から徒歩2分



感染症対策について

- ・マスク着用のうえ、ご来場ください。着用されていない場合は、入場をお断りする場合があります。 ・入場時に検温及び手指消毒にご協力ください。 ・発熱(37.5度以上を目安)がある方、体調不良の方はご来場をお控えください。